

2024年6月1日(土)&2日(日)開催予定

「ポートタウンまちづくりデイズ」実現に向けた議論!

当日に向けて、中心となる会場図を見ながら、「運営」「出店」「駅北・商店街活性化」「その他」のグループにわかれ、それぞれ自由に議論してもらいました。以下その一部を紹介します。

概要について

- 6月も21時を過ぎると寒いのでは
- サンセットマーケットは音楽があったので騒音問題から21時終了とした

中心エリアについて

- 科学館前は子供が遊ぶエリアのようにできるといいのでは?
- 埠頭の先の方はイベントスペースにしてはどうか?
- 埠頭東半分を駐車場にしてはどうか?
- 埠頭部分は暗いので足元を照らすライトが必要だろう
- 埠頭の西のステージはそのままステージで使い、その前面は客席にしてはどうか?
- 埠頭西側の芝生スペースは飲食スペースにしてはどうか?
- ステージ近くを本部とすると駅近く埠頭のさきにも行きやすい
- サンセットマーケットのときは駐輪場はなかったが、科学館南にある駐輪場は使えるかも
- 風が強いので背面にカベがあると安心かも

企画アイデア

- 2日目の朝からみんなでラジオ体操してはどうか?
- マーメイドとスイーツを売ります
- コーヒーだします
- 古武術のワークショップのできるマット状の場所がほしい
- 昼は物販で夜は飲食がやりたいです

広報について

- 大学生同士でSNSでシェアしあうと拡散しやすい
- 前は開催ギリギリにチラシができた。ネットは
- 回覧板は市民老若男女問わず皆見る
- イベントまであと何日のカウント投稿



その他

- 駅から降りて「何かが起こっている」というサインが必要
- 店同士の組み合わせが大事(匂いの問題など)
- キッチンカーはどこまで入れるか?
- 駐車場の案内係はプロを入れた方がいい
- 歩いて楽しい雰囲気づくりの方法を考えていく
- 人がどうしたら滞流するか?
- アピタ内で売ってる物を外で販売したら良い
- ふせんやボード必要。話すのが苦手な人はシールに貼っていく
- サンセットマーケットのときみたいにたき火ってできる?
- 物の売買だけだとそれで終わる。付加価値つけたい
- 照明を持っていないためレンタルできたらうれしい
- 飲食のちかくにはテーブルとイスのスペースがほしい
- 飲食の出店はある程度集まった方が盛り上がりやすいように見える
- テントでとまっていこう
- 著作権に関して確認が必要

ポートタウンまちづくりデイズの中心となるエリアは、蒲郡駅から埠頭までを考えています。



発行:蒲郡市/デザイン:桑田亜由子/撮影:青木遥香

ご参加希望の方は

こちらのQRコードから申し込みください



応募フォーム



詳しくは市ウェブサイトを!

GAMAGORI CITY HIGASIKO CHIKU 蒲郡市東港地区

まちプロジェクト会議 レポート



#3 分科会1

@蒲郡市役所北棟集会室 2024年2月23日(金・祝) 18:00~20:30

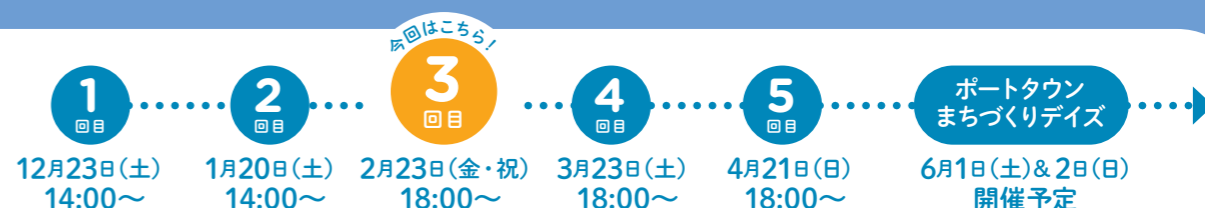


2023年12月から2025年度にかけて、蒲郡駅周辺の市街地・竹島ふ頭や竹島ベイパークなどの埋立地・そして竹島周辺という3つのエリア「蒲郡東港地区」を舞台にして、市民や事業者が主体となる公民連携によって、持続性のある魅力あるエリアづくりを実現していくまちプロジェクトが進んでいきます。

1回目2回目のまちプロジェクト会議でいただいたご意見を踏まえ、東港地区の未来像をどんどんブラッシュアップしています。今回もそんなマスタープランを見てもらいながら会場全体で議論を進め、後半では、今年2024年6月1~2日実施予定の「ポートタウンまちづくりデイズ」についての話し合いも進めていきました。

東港地区のマスタープラン案を見ながら議論しました!

日程



東港地区マスタープラン案の紹介！

令和5年4月から実施された事業者選定で選ばれた蒲郡東港パートナーズから、これまでの経過の説明と合わせて、東港地区のマスタープラン案を紹介しました。

パートナーズ代表忽那裕樹さんからの説明のあと、参加者のみなさんと議論をしていきました。どんなやりとりがあったかは右のページをどうぞ。



まちづくりプラン
東港地区まちづくりビジョンの検討方針やこれまでに抽出された市民意見を反映し、7つのエリア設定をおこないました。
なお、本プランは事業検討を進めるためのものであり、今後のまちづくり協議会および社会実験、市民とのワークショップを踏まえて更新していくことを目的としています。

蒲郡駅～竹島ふ頭 CGパース



商業エリア CGパース



上の図は当日のスライドからの抜粋です。あくまでも途中経過のイメージではありますが、リアルな平面図や3DCG図も利用しながら、そのエリアの風景を想像しやすくなるように工夫をしています。

マスタープランを見ながら、こんな議論がありました！

1 事前にマスタープランの説明があるとよかった。

次回のまちプロジェクト会議でも今回のようにプランについての質疑を受け付けます。

2 駅北エリアもやりながらでは、駅南の計画が遅れるのでは？

東港パートナーズで役割を決めて進めています。担当者連携しながら、駅南の計画が遅れることなく進めていきます。

3 6月のポートタウンまちづくりデイズでもマスタープランを市民に見せるべき。

ぜひ、そうしたいと思います！

4 ラグーナテンボスと東港の連動はどう考えているか？

東港地区だけでなく、蒲郡市全体を巡り、滞在するという回遊性が重要です。ラグーナテンボスも連動させたいと考えています。

5 東港エリアにある蒲郡荘を買っていただきたい。

市が購入したり、民間の投資家が購入して条件付きで開発するかなどいくつか選択肢があると思います。事業者へのヒアリングなどを通じて、活用の可能性を探りたいと思います。

6 ラグーナ行、西浦行、大島行の定期船が欲しい。

定期便の就航は皆さんにとっても、私たちにとっても悲願だと思います。他の事業計画もうかがいながら、ぜひ実現できるよう頑張りたいです。

7 フィッシャーマンズワーフは西浦の方がよいのではないかと？

機能分担が必要だと思います。海と山が近い東港で、西浦の魅力とはまた違った、海と山の幸を堪能できる場をつくってほしいです。

8 西浦をガマフォルニアというキャッチーな名称で呼ぶように、東港もガマルセイユと呼んだらどうか。

キャッチーな名前をつけることは非常に大切だと思います。参考にさせてください。

9 豊橋市まちなか図書館が、年中無休で明るく、コーヒーが飲めるなど素晴らしかった。参考にしてほしい。

蒲郡市ではリーディングプロジェクトとして蒲郡ならではの図書館のあり方が検討されています。まちの回遊性や高架下の活用も含めて、一緒に検討を進めていきたいと思っています。

10 今回の計画では、市民と観光客の比重をどう考えているか？

どちらも重要だと考えています。近年では市民が楽しく暮らしているところを訪れたいという新しい観光のかたちも生まれています。プロモーション面ではどちらの目線を重視するかという議論もあるので、検討を続けたいです。

11 成功事例だけでなく、失敗事例も知りたい。

夢物語のマスタープランを描いて無理やり進めようと失敗しやすいと考えており、私たちは市民のみみなさんと議論しながら進めていきます。適宜社会実験も活用して、ハードルを越えていきたいと考えています。

12 起業したい若者や、そもそも人がいないという現状はあるが、平日働きながら週末に自分の好きな事業をおこなうという新しい働き方もあり得る。蒲郡らしい働き方が生まれると理想。

パートナーズメンバーが進める「旭川はれて」はまさにそうした新規出店の受け皿になる事例です。蒲郡でも新規にお店を始めやすい環境をつくりたいです。

13 3月に照明について何かすると聞いたがどうなっているか？

照明社会実験は実施しますが、竹島を照らすことは天然記念物である島の植生に影響を与える恐れがあるため許可が得られませんでした。単発的なイベントで終わらないようにしていきたいと思っています。

14 ふ頭先のモニュメントは、海と陸、人が出会うダイナミズムを表現するものなど、6月に向けてコンペ形式でイメージを集めるのはどうか。

6月に間に合わせることはできませんが、コンペを開催することは非常に重要だと考えています。コンペ自体がまちのプロモーションに繋がる事例も多いため、ひとつの選択肢として検討していきたいと思っています。